

# 死して叡根にあらば 骨も世に清からん

## — 寂室元光の生涯 —

題字：臨済宗永源寺派管長 道前慈明



児玉 修 著

▼四六判・三九〇頁／定価：本体一、八〇〇円（税別）

臨済宗永源寺の開山である寂室元光（一二九〇—一三六七）は、生涯を通じて大刹に依らず、名聞利養を否定し、また知的で洗練された文藻を備えた、日本禅宗史上希に見る純粹清烈の僧として名高い。

映像作家であり「臨床僧の会・サーラ」事務局長でもある著者が、誕生から示寂まで、桁外れにスケールの大きなその生涯をたどった大河小説。

### ■ 目次 ■

鎌倉	修 行	相 見	出 家	童 行	得 度	発 心	幼 少 期	誕 生	建 一 族	序文 道前慈明
解 説	示 寂	永 源 寺 開 創	韜 晦	開 臺 前 の 誓 い	帰 山	天 目 海	渡 海	権 力 の 狭 間	帰 郷	
	有 馬 頼 底									

推薦 永源寺管長 慈明道前

此の度児玉氏が寂室元光禅師を顕彰したいという願いから、一般の人々にも読み易いようにと小説を書かれた。時代背景も踏まえ、良く調査されておられ、感服しました。それにもまして分かりやすく、寂室禅師を知る上で、絶好の水先案内書であると信じます。

平成二十六年  
五月中旬刊行

児玉修（こだま・おさむ）  
1947年、愛知県半田市出身。  
同志社大学卒。「映像工房サ  
ンガ」代表。「臨床僧の会・  
サーラ」事務局長。  
京都府長岡京市在住。  
著書『仏教崩壊』（文芸書  
房）『天翔る白鷗—愚中周  
及の生涯—』（思文閣出版）  
など。

思文閣出版

〒605-0089 京都市東山区元町355 tel075-751-1781/fax075-752-0723  
http://www.shibunkaku.co.jp/ E-mail:pub@shibunkaku.co.jp

注文票		発行：思文閣出版		(京都 取引コード 3402)	
冊数	冊	死して叡根にあらば骨も世に清からん 本体1,800円(税別) ISBN978-4-7842-1750-2			
お名前		tel			
ご住所	〒	e-mail			
送本方法	<input type="checkbox"/> 書店経由 (このちらしを書店にお渡し下さい) <input type="checkbox"/> 代引 (書籍代+送料を現品と引き替えにお支払い)				
				本書HPのQRコード	
書店番線印					

# 天翔ける白鷗

## 愚中周及の生涯

児玉修（映像作家・映像工房サンガ代表）著

時は南北朝、中国帰りのエリートとして囑望されながら、決して権力におもねらず、ひたすら仏の道を行じ、庶民とともに生きた禅僧がいた。將軍の上洛命令にも従わなかったその僧の名は愚中周及（一三二三～一四〇九）。臨済宗佛通寺派大本山佛通寺（広島県三原市）や、妙心寺派天寧寺（京都府福知山市）の開山である。

愚中周及に惚れ込み、自ら山川を跋涉して、忘れられた愚中の足跡をたどってきた映像作家の著者が、時代のなかで苦悩し、雪中坐禅や夜を徹する月下での立禅など、自らの仏法を打ち立てた生涯をたどり、語録ではわかりえない血の通った人間愚中を描ききった意欲作。

▼四六判・上製本・三〇〇頁  
定価.. 本体 一、六〇〇円（税別）



二〇一〇年十一月刊行

題字：有馬頼底  
カバー画：七類堂天谿

### ■目次■

序	有馬頼底
序章	度庵戒
得度	草庵
受戒	苦惱
渡航	上陸
旅立ち	師との出会い
悟了	帰国
二人の師	再行脚
將軍の誘い	丹波へ
天寧寺	出奔
禅頭寺	仏通寺開創
將軍相見	寂
解説	对本宗訓

### 注文票

発行：思文閣出版

（京都 取引コード 3402）

冊数

冊 天翔ける白鷗—愚中周及の生涯—

本体一、六〇〇円（税別）

ISBN078-4-7842-1541-6

お名前

tel

e-mail

ご住所

送本方法

書店経由（このちらしを書店にお渡し下さい）  
 代引（書籍代+送料を現品と引き替えにお支払い下さい）

書店番線印

思文閣出版

〒605-0089 京都市東山区元町355 tel075-751-1781/fax075-752-0723  
http://www.shibunkaku.co.jp/ E-mail:pub@shibunkaku.co.jp